

# 令和2年度

## ポニーの会 事業計画

### 1. はじめに

働き方改革がうたわれているが、ポニーの会でも令和2年度より人事制度改革を行っていく、令和元年9月から6か月間人事担当のコンサルタントにこれまでの現状を示しアドバイスを受け、これからのポニーの会を担っていく若い職員にも分かりやすい、さらに仕事に対して意欲が沸くような人事制度を作った。新たな人事制度が全職員に周知できるよう、コンサルタントによる説明を計画している。利用者のよりよいサービスに繋がられるよう人事制度改革によって職場環境を整え、職員が一丸となって支援に当たっていく。

また、事業継続計画（BCP=Business Continuity Plan）を整備していく。これは災害が起きたときに、ポニーの会がどのように運営を継続していくかを示す計画であって、大きな自然災害が予想される昨今、いつでも実行に移せるようにきちんとした計画を整備しておく必要がある。さらに、計画に乗っ取って訓練をおこない職員の防災意識を高めていく。

### 2. 事業方針

#### 2-1 基本方針

障害のある方が地域生活や社会活動を行うことを支援し、すべての人々が共に良い人生をおくれるよう、利用者の視点に立って運営する。

#### 2-2 重点推進項目

##### (1) 職員の組織強化を図る

令和2年度はポニーの家多機能、ポニーの家生活介護、ケアホーム夢未来、相談支援事業所キャンディ合わせて常勤職員18名非常勤職員59名運転手9名の体制ですすめていく。仕事の部門ごとにチームを組み結束を固め、職員それぞれが組織の中での自分の位置を自覚し、より良い支援ができるよう努力していく。

令和2年度のポニーの家は「利用者の個々の能力・体力・適性を十分把握し、本人にあった作業及び日中活動を通じて自己実現と社会参加を支援する」という大きな目標をかかげ、さらにその中に所属している小さなグループがそれぞれの目標をかかげ自覚をもって支援にあたっていく。また、ポニーに来るお客様が口々に「皆さんの笑顔がいいですね」と言ってくれるので「明るく楽しく笑顔あふれる施設」を社風とすることにした。職員全員にこの社風を示し、誰に対しても笑顔で対応することを徹底し笑顔あふれる施設にしていきたい。

##### (2) 職員教育の充実を図る

職員のレベルアップを図るために、開催される研修にはできるかぎり関係職員を参加させ、職員の継続的な資質改善に取り組み、専門資格や知識の習得により支援技術を向上していく。各職員が研修してきたものを毎月内部研修としてより多くの職員にフィードバックする時間を設けていく。

### 3. 事業別計画

#### 3-1 ポニーの家多機能

##### (1) 生活介護<令和2年度目標>

健康面に留意しながら作業や余暇活動を通して、毎日を心豊かに過ごせるよう支援する。

(基本方針)利用者の個性や能力を引き出し、内職請負作業、食品製造、手工芸とそれぞれの適性にあつた作業を提供し、日々の生活に充実感を持てるように支援していく。作業以外の余暇活動においても各利用者の能力に応じて活動を楽しめるよう支援していく。また、理学療法士の指導のもと、各利用者の無理のない範囲で身体機能の維持・向上に努めていく。

##### (2) 就労移行支援<令和2年度目標>

就労を目指す利用者の適性にあつた作業を見極め、能力を引き出せるように支援する。

(基本方針) 就労を目指す利用者に正確性や体力が求められるクリーン作業・農作業を提供していき、一人一人の強み及び適性を見極め、就労につなげていけるように支援していく。

##### (3) 就労継続支援B型<令和2年度目標>

生産性を維持し、個々が安定した作業を行えるように支援する。

(基本方針) 菓子製造・農業・外部清掃・厨房補助の各作業での生産性を維持し、利用者の適性に応じて安定した能力が十分に発揮できるよう、精神面及び体調面に配慮して支援にあたる。また、カフェでの作業において各利用者のレベルや希望に応じたスキルアップをはかっている様に支援していく。

令和2年度授産事業目標<利用者の支援に重点を置き、今までの取引を継続し、質の良い作業が出来るようにする。カフェでの売上向上を目指す。>

基本方針<令和2年度は、カフェの売上向上を目指し、原価・メニュー・販売品のレイアウトの見直しやカフェ独自のイベントなどの企画をして前年比、10%増の売り上げを目指す。

他の授産事業に関しては、工賃と授産事業での収入を考えて利用者の支援を中心に無理のない作業形態をとっていく。作業効率ではなく、丁寧に確実な作業を目指していく。クッキーについては、現在オープンが一つしかないの、忙しくてもクッキーを焼き上げる事が出来ないときが多い状態なので、新たに一台購入して余裕を持って製造焼き上げが出来るようにしていく。

ポニーの家多機能での授産事業は、下の表のようになっている。

主な授産事業	主な取引先(取)又は販売先(販)	主な内容
内職	(取) 有限会社立崎屋	チラシ封入 等
	(取) 株式会社コーエー	シール貼 等
	(取) 株式会社タカラ特殊印刷	紐通し
クッキー	(販) 藤代庁舎・カフェ・各種イベント	自社販売
	(販) カフェウェルカム・JA夢とりで	委託販売
パン	(販) 藤代庁舎・施設内・予約販売	自社販売
手工芸	(販) 藤代庁舎・カフェ・各種イベント	自社販売

手工芸	② 藤代庁舎・カフェ・各種イベント	自社販売
	② カフェウエルカム・小貝川いきいきクラブ・あけぼの・エバンス	委託販売
クリーン	② 桜が丘自治会・藤代スポーツセンター	トイレ清掃
	② 高蔵寺	本堂・客間清掃
売店・きまま	庁舎売店	藤代庁舎での販売
	利用者売店・喫茶きまま	施設内での販売
菓子製造	② 藤代庁舎・カフェ・各種イベント	自社販売
	② カフェウエルカム・藝大食堂	食パン・コッペパン納入
	② ポニーズカフェ	食パン・コッペパン納入
カフェ	リボンとりで3階 (PONY'S CAFÉ)	ドリンク・フードの販売 手工芸品・クッキーの販売 瓶詰・手工芸品の委託販売

### 3-2 ポニーの家生活介護

#### (1) 生活介護

<令和2年度目標>

一人ひとりが持っている力を生かしながら、利用者、職員共に手を取り合い、地域の中で生活できるよう支援する。

#### (基本方針)

常時介護が必要な利用者に対し、生活能力や身体機能の維持向上のため、排泄、食事の介助、訓練および創作活動、軽作業を提供する。

#### (サービス内容)

利用者の状況に応じた生活全般の援助、健康保持のための支援（健康診断・理学療法士によるリハビリ指導・歯科検診等）、生きがい作りの活動の場を通し、日常生活の質の向上を目指していく。ドルチェや未来工房では、気持ちの安定を図りながら穏やかな生活がおくれるよう支援していく。また、各作業では、それぞれの力を発揮し作業を通して生きがいを持って過ごせるよう支援していく。

部門	内容	目標
箸作業	内職（アオトプラス） 箸 ペーパーフォーク ペーパースプーン	作業の種類に合わせてスキルを高め、作業面、生活面で安定して取り組めるようにする。
ドルチェ	理学療法士によるリハビリ、リズム・ストレッチ体操、ミュージックケア、製作、バイタルチェック、歯科検診	様々な働きかけをしながら身体機能の維持・向上を図り、身体面、生活面が少しでも満たされ穏やかに過ごせるようにする。
製本印刷	名刺、ハガキ印刷、文章打ち込み、	各自の能力に合った作業を

	カレンダー、写真印刷 Word・Excel等、作業上必要な操作の練習	提供し、作業のスキルアップを図る。
未来工房	ボールペン封入（株式会社ABM） ペットボトル回収・処理、荷物運搬、給食用野菜皮むき、段ボール梱包・処理、清掃（室内・納品車等）、精米、シュレッダー作業、ウォーキング、軽運動	小さなことも一緒に喜び合い、気持ちの安定を図りながら活動に取り組み、穏やかに生活できるようにする。

### 3-3 各種事業共通

#### 【1】 創作活動・文化的活動・クラブ活動・レクリエーション・健康管理

##### ① 創作活動

ミュージックベル・創作活動・ 絵画・音楽・文章講座・フラワーアレンジメント 学習	能力に応じ創作意欲が持てるよう支援する 様々な活動に参加し、他利用者や職員と関わりを持ちながら楽しみを持って取り組んでいくよう支援していく。
---	---

##### ② 文化活動

交流会 音楽鑑賞 DVD鑑賞 その他	各活動に参加しながら、それぞれが情緒の安定を図れるよう支援していく。
--------------------	------------------------------------

##### ③ クラブ活動

放送クラブ、新聞クラブ、ウォーキングクラブ スポーツクラブ、ダンスクラブ、アートクラブ	一人ひとりの興味や関心を大切にしながら、それぞれ所属するクラブ活動において自分の力を発揮できるようにしていく。
--	---

##### ④レクリエーション

種 類	内 容	目 的
趣味を楽しむ	DVD鑑賞、卓球、カラオケ、ボーリング	他利用者や職員と一緒に余暇等を楽しむ。
自然や季節を楽しむ	近隣の自然散策やお花見など	自然豊かな地域の中で四季を感じながら親しんでいく。
地域との関わり	地域のイベントに参加	地域の方々とイベント等を通して関わりあいながら地域に根差していく。

##### ⑤健康管理

3月：内科検診 6月：レントゲン 11月：インフルエンザ予防接種

毎月：バイタルチェック・体重測定

#### 【2】 イベント・年間行事

年間イベント・行事予定

4/1：入所式 5/11：運動会 8月：夏まつり 9月：フェスティバル 10月：遠足

10月：ハロウィン 11月：ネットワークフェア 12月：芸術祭 in 取手  
1月：成人を祝う会 2月：交流会

### 【3】防災避難訓練

年3回実施予定

6月頃・10月頃・3月頃

#### 3-4 共同生活援助（介護包括型）ケアホーム夢未来

＜令和2年度目標＞

利用者が楽しく快適な生活が出来るよう支援する。

＜夢目標＞それぞれの利用者にあった支援を提供し、のびのびと安心して暮らせるようにする。

＜未来目標＞家庭と変わらない暖かい雰囲気を作り、一人ひとりが安心して生活できるようにする。

（基本方針）

自立を目指し、地域で安心して暮らしていきたいという利用者に対し、食事の提供、健康管理、入浴支援、日常生活及び日中活動に関する相談など必要な支援を行い、日常生活能力の維持・向上を目指す。

＜利用者＞

利用定員	14名
------	-----

＜職員配置＞

管理者	1名（兼任）
サービス管理責任者	1名
世話人	7名（専任）
生活支援員	10名

### 【防災避難訓練】

年3回程度実施予定（不定期）

#### 3-5 特定相談支援事業部門（キャンディ）

＜令和2年度目標＞

利用者が目標達成や問題解決に向けて自分自身で努力していけるよう環境を整える。

（基本方針）

利用者一人一人が望む生活に近づけるよう支援を行なっていく。

現在利用中の106名（ポニーの家利用者65名それ以外41名）に対して定期的なモニタリング、支援会議の実施を行ない、目標達成や抱えている生活上の問題の解決に向けて利用者に寄り添い歩いていく。福祉サービスの力だけで目標達成や問題解決をするのではなく、支援を受けながら利用者自身が目標達成や問題解決に向け歩いていけるよう支援していく。相談支援専門員は、利用者がそれに向けてどうしたらよいかを具体的に提案し、利用者が自ら選び行動していけるよう

に支援する。その際は、できるだけ多くの選択肢を用意できるよう、幅広い分野に関する情報収集を行ない、柔軟な思考を持ち新しい発想で提案できるよう努める。また利用者自身がしっかりと歩んでいけるよう、協力体制を整える。多くの人が応援者となって利用者を支えていくネットワークが構築されるようにする。

#### 4. その他 地域貢献

4-1 手芸サロン：毎週火曜日 10：00～14：00

<令和2年度目標>

地域の中で、近隣の方たちや保護者の方たちのくつろぎの場として、より多くの方が立ち寄って下さるような環境を整えていく。

(基本方針)

・どなたでも参加できるような手仕事を準備して、手仕事をしながら楽しくおしゃべりできる場を提供していく。

・お花見などの季節行事を計画し、さらにポニーのイベントへの参加を呼びかける。

《令和2年度予定》

4月7日(火) お花見 (手芸サロン、ポニーズサロンシルバーリハビリ体操の方と共に)

9月26日(土) ポニーフェスティバル

2月27日(土) ポニー交流会

4-2 ポニーズサロンシルバーリハビリ体操：毎月第4火曜日

・シルバーリハビリ体操の講師の方を招き、近隣の方たちの健康増進、親睦を目標に月に一回開催する。

4-3 ポニーズカフェ：適時

<令和2年度目標>

一般のレストランなどに行くことが困難な障害のある方や、地域の方に焼きたてパンや食事を提供していく。

(基本方針)

児童デイの夏休みの昼食の場として、また地域の方たちの集いのお食事処として要請があったときに対応していく。

4-4 福祉避難所

<令和2年度目標>

取手市から福祉避難所開設の要請があったら、すぐに動き出せるよう備品を確認し、受け入れ書類の整備をしていく。

(基本方針)

福祉避難所は、より専門的な支援や援護の必要性の高い避難者のために確保されるものである。よって物資、器材、人材、移動手段を確保し避難者の安全に留意する。

以上